

特集 = 亡き人を送る

葬儀の意味

葬送儀礼、または葬送儀式を略して「葬儀」といいます。では、いったい誰のために行う儀式でしょうか。遺族にとり、儀式は故人との現世（げんぜ）での別れでもあります。礼を尽くして葬送したい、という遺族や有縁の方々の心情は、どんなにも理解できるでしょう。でも、大切なのは、なくなられた方の急な変化¹¹死を、無駄にしない心がけ。それは、人の死から《諸行無常》と《命の尊さ・重さ》などを学ぶことです。

なくなられた方を偲びつつ、佛に成るいわれ¹¹み教えに遇わせて戴く尊い「佛縁」なのです。

慎みたい行為と表現

葬儀ほど仏事の中に迷信、習俗、習慣が根強く絡んでいるものはありません。元々の意味も分からず、何より大切なみ教えがどこかに置き去られたまま、誤った情報や思い込み、慣習に遮られた状態で仏事が行われています。

●お釈迦様は、「霊」について語るな。さらに「靈魂」の存在を否定されました。御霊前、御霊灯、霊柩車は誤りです。

●六曜等の日の吉凶は迷信であり、使いません。

●仏壇を閉じない。仏事は全て仏壇、御本尊様を中心に行います。

●死装束、守り刀、清め塩、末期の水、神棚隠し、茶碗を割る、火葬場の行き帰りに道を変える、団子、水を供える。全て慎みたい。

●祭壇、通夜ぶるまい、お清め、精進落とし、告別式、冥福を祈る、天国、草葉の陰、黄泉の国などは使っていない言葉。

弔電の披露

弔電や弔意メッセージは、通夜・葬儀にこられない人が、遺族あてに送るもの。それが会葬者に披露されるのは、どう考えてもおかしい習慣。

故人の上司に当たる方が「高額」の御香典をもって葬儀に出席。部下になる人が弔電を送り「司会者」はそれを披露しました。これは実際にあった話。

そもそも弔電や弔意文は、遺族に対して送るものであって、披露するべき性質のものではありません。ただし、披露して故人の「格付け」を上げる、と言った配慮から肩書つきで発表するケースもありますが、会葬者を不愉快にする場合があります、関係者はその点を考慮すべきでしょう。



臨終から満中陰(49日)まで

臨終（死亡）

① お寺に通知

② 近親者に連絡

③ 医師の
死亡診断書をとる

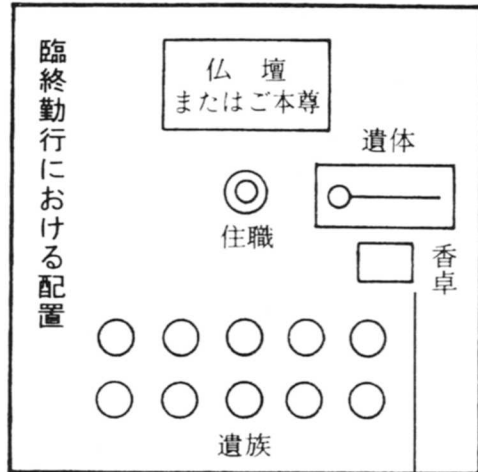
④ 役所へ死亡届

⑤ 親族で葬儀規模、
通知範囲、
分担を決める

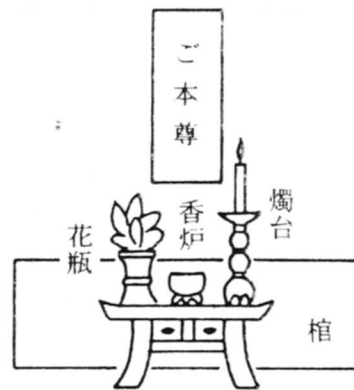
⑥ 親族代表
受付係
会計係
送迎係
このうち近所の方に頼む役割もある

⑦ 葬儀社と打ち合わせる
(住職を加えるとよい)

⑦ ^{ききょうしき} 帰敬式と臨終勤行
手は合掌させ念珠をもたせる
帰敬式は法名を載していない方のみ

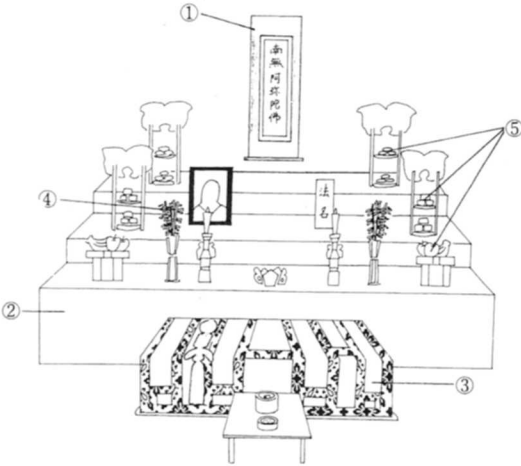


⑧ 納棺と納棺勤行



これは一例であって、地域や事情により、違う場合があります。

葬儀社がしょうこんだん 荘厳壇（葬儀壇）をつくる



- ① 正面には必ず「南無阿弥陀仏」のお名号をかけます。遺影・写真等に隠れないように注意下さい。
 - ② 荘厳壇（葬儀壇）は、ご本尊への荘厳であって、遺体へのお飾りではありません。
 - ③ 棺の上は七条袈裟で覆い、修多羅をかけるか、または棺覆いで覆って下さい。（刀、写真等は置かない）
 - ④ 紙華をお供えます。（紙華はお釈迦さまが涅槃に入られたとき、沙羅双樹の花が、死を悼み悲しんで白く変わったこと由来しています。）
 - ⑤ 供物は、餅一对、菓子一对、果物一对をお供えます。水・茶・塩・味噌はお供えしません。
- ※ 遺体に、死装束（三角頭巾、六文銭等）は不要です。

⑨ 通夜勤行（通夜）

⑩ 出棺勤行

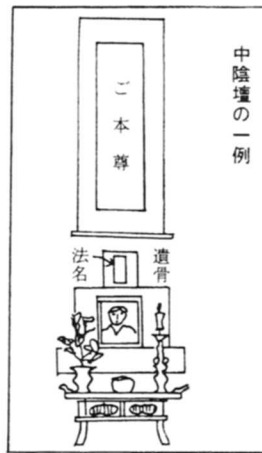
⑪ 葬場勤行（葬儀）

ひや
⑫ 火屋勤行

⑬ 収骨勤行

火葬埋葬許可証は、骨壺と一緒にしておくこと紛失しない

葬儀社が中陰壇をつくる



中陰壇の一例

⑭ 還骨勤行（自宅へお骨が帰る）

ちゅういん
⑮ 中陰 初七日・二七日・三七日
四七日・五七日・六七日
7日ごとに法要を営む

まんちゅういん
⑯ 満中陰（49日）
満中陰法要を営み、その後納骨する

配布寺院名

死亡通知や挨拶などは、よく考えないと、迷信が入っていたり、浄土真宗らしくない言葉を使つて遺族もいます。

そこで、例をご紹介します。

●死亡通知の例文(葉書)

〇〇〇〇儀 病氣療養中のところ
 月〇日〇〇時〇〇分〇〇〇歳を以て往生の素懷を遂げました。

ここに生前のご厚誼を深謝しご通知申し上げます。

追つて、通夜・葬儀は〇〇〇に於いて左記の通り執り行います。

通夜 〇月〇日〇〇時
 葬儀 〇月〇日〇〇時

なお誠に勝手ながら、花輪の儀はかたく拝辞いたします。

〇年〇月〇日

住所

氏名

合掌

●会葬御礼の例文(葉書)

本日は〇〇〇〇儀の通夜・葬儀に当たり、ご多用中にもかかわらず御会葬

と御鄭重なる御厚志を賜り、有難く深謝いたします。

早速拜趨の上御挨拶申し述べべきところ、略儀ながら書中を以て謹んで御礼申し上げます。

〇年〇月〇日

住所

氏名

合掌

●会葬者への挨拶例

本日は、お忙しいところ御会葬下さいまして誠に有り難うございました。

一言、挨拶を述べさせて戴きます。(故人との関係、例えば父・母・兄弟姉妹)

〇〇〇が〇月〇日お浄土に往生いたしました。(故人)は阿弥陀如来様の慈愛

の手に抱かれていることでしょう。残された私ども遺族は、新たな決意のもとに一層の聞法と佛恩(ぶつとん)報

謝につくしたいと存じます。なに分にも至らぬ者ですが、今後ともお力添え

をお願いいたします。最後に皆様のご参列をえて葬儀を執り行うことができ

ましたことに厚くお礼を申し上げます。

有り難うございました。

※ある方のお通夜の会葬お礼状は最後に、

うつし世の 生死の海を のり越えて
 弥陀の浄土へ いくぞ嬉しき
 と、故人の辞世のうたが付け加えられてありました。

●満中陰のあとの御礼の例文

謹啓

慈光のもと貴台益々御清祥の御事と拝察申し上げます。

さて、先般祖父(例)〇〇〇〇儀

法名 釋〇〇

の葬儀に際しましては、ご多用にもかかわらず御懇篤なる御弔意を賜りなお格別の御厚志を戴き誠に有り難く厚く御礼申し上げます。

おかげをもちまして、この程滞りなく満中陰の法要を厳修いたしました。

早速、拝眉の上御礼申し上げます。ご

ざいですが、略儀ながら書中を以て謹んで御挨拶申し上げます。

〇年〇月〇日

住所

氏名

合掌

事後の諸届

◆故人の勤務先の整理

在職中に死亡した場合は、身分証明書、書類等の返却、保険、年金、退職金等の確認。給与を精算し、源泉徴収票を発行してもらいます。

◆埋葬料、葬祭費の受け取り

国民健康保険や社会保険、労災保険に故人が加入していた場合、遺族に支給されます。

◆生命保険等の受け取り

故人が生命保険に加入していた場合は、被保険者氏名、保険証番号、死因、死亡年月日を生命保険会社に連絡して下さい。折り返し、死亡保険金請求書が送られてきますので、必要書類を揃えて提出して下さい。

最近の住宅ローンは、生命保険付きが一般的です。住宅ローンの返済をしていた人が亡くなられた場合、この保険金で残債が支払われる事になります。郵便局の簡易保険や、勤務先で一括

加入している団体生命保険、会社経営者や幹部の方の経営者保険等、故人が様々な保険に加入している事もありますので、よく調べて下さい。

◆年金等の手続き

国民年金、厚生年金、軍人恩給等、様々です。よく調べて手続きをして下さい。

◆名義変更の手続き

故人名義の不動産、株券、自動車、預貯金、電話などを相続した場合は、名義変更する必要があります。

◆相続の協議

◆相続税の申告と納付

◆故人の確定申告

所得税の確定申告は、前年一年間に得た所得の税額を計算して申告し、税金を納付します。

◆医療費控除

確定申告の手続きの際、一年間の医療費が一定額を越えた場合、所得税の医療費控除を受けることができます。